

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【公開番号】特開2011-162272(P2011-162272A)
【公開日】平成23年8月25日 (2011.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2011-034
【出願番号】特願2010-23180(P2010-23180)
【国際特許分類】

B 6 6 B 1/18 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 1/18 N

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月27日 (2012.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一のゾーンに設置された互いに連係の無い 2 台のエレベータまたはエレベータとエレベータ群、エレベータ群とエレベータ群を制御するエレベータ制御装置において、

上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群は、一方が特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群であり、他方が一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群であり、

上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群で同一呼びが登録された場合であって、上記特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が先に呼び登録された場合、上記特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が、同一呼びが登録された階床に先に到着したとき当該階床に関する同一呼びを打消すことを特徴とするエレベータ制御装置。

【請求項 2】

任意の階床での上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群への呼び登録が行われた時刻差が予め定めた所定の時間以内、または上記所定の時間以内且つ予め定めた第 2 の所定の時間以上であるとき当該階床に同一呼びが登録されたと判断することを特徴とする請求項 1 に記載のエレベータ制御装置。

【請求項 3】

上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群で同一呼びが登録された場合であって、上記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が先に呼び登録された場合、上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群の何れかが、同一呼びが登録された階床に先に到着したとき当該階床に関する同一呼びを打消すことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のエレベータ制御装置。

【請求項 4】

上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群で同一呼びが登録され、上記特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が先に呼び登録され、前記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が、同一呼びが登録された階床に先に到着した場合であって、

前記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が、同一呼びが登録された階床に到着したときに、前記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群のかご内が無人である場合には、当該階床に関する同一呼びを打消し、

前記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が、同一呼びが登録された階床に到着したときに、前記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群のかご内が有人である場合には、前記一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群についての呼びのみを打消すことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のエレベータ制御装置。

【請求項 5】

出勤時間帯には同一呼びを打消さないことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載のエレベータ制御装置。

【請求項 6】

初めに同一呼びが登録された階床に上記エレベータが到着したとき全ての同一呼びを打ち消した後、第 3 の所定時間内に他のエレベータに対して当該階床から呼びが登録されたとき同一呼び打消しが不適切、当該階床からの呼びが登録されなかったとき同一呼び打消しが適切と判断し、

また、全エレベータの同一呼びを打ち消さなかった後、他のエレベータが当該階床に到着後第 3 の所定時間内に乗客が乗車しなかったとき同一呼びを打消さなかったことが不適切、乗客が乗車したとき同一呼びを打消さなかったことが適切であると判断し、

判断した結果を保有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のエレベータ制御装置。

【請求項 7】

上記判断で適切が半分以上の場合、当該制御を継続し、上記判断で適切が半分未満の場合、他の制御に切り替えることを特徴とする請求項 6 に記載のエレベータ制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

この発明に係るエレベータ制御装置は、同一のゾーンに設置された互いに連係の無い 2 台のエレベータまたはエレベータとエレベータ群、エレベータ群とエレベータ群を制御するエレベータ制御装置において、上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群は、一方が特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群であり、他方が一般の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群であり、上記 2 台のエレベータまたは上記エレベータと上記エレベータ群、上記エレベータ群と上記エレベータ群で同一呼びが登録された場合であって、上記特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が先に呼び登録された場合、上記特定の利用者に対応するエレベータまたはエレベータ群が、同一呼びが登録された階床に先に到着したとき当該階床に関する同一呼びを打消す。